高蔵寺ニュータウンの空き家・空き地を活用した多世代共通課題解決型サービス拠点モデル形成事業

資料１－４

１．事業の概要

国土交通省住宅局「空き家対策の担い手強化・連携モデル事業」

①補助目的（国）

多岐にわたる空き家の課題 → **国がモデル的な取り組みを支援**
- 空き家相談体制の充実（人材の育成）
- 空き家の共通課題を解決する手法・取組

→ **成果事例を全国展開（報告会等）** → 空き家対策の一層の加速化

②事業スケジュール

応募 事業主体：まち会社
連携先　：市、アドバイザー

→ **７月ごろ** 採択通知 → 事業実施 → **R３．２月** 事業成果報告会 → 国へ完了報告 → **年度末** 補助金受領

〈応募事業の概要〉

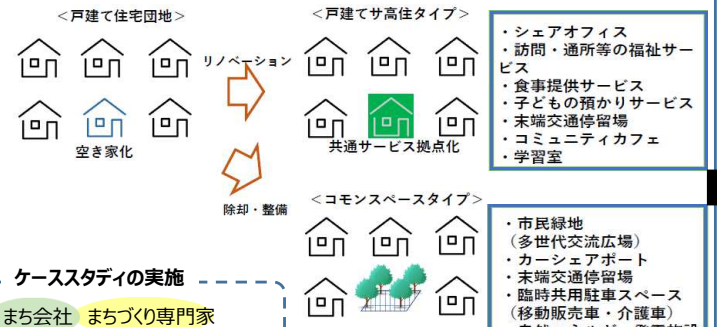
- 地域住宅団地再生（地域再生法）
- 都市のスポンジ化対策（都市再生特別措置法）

戸建て団地での新たなモデル的な取り組みの検討

- リニア
  「住まい方」⇒ 地方の移住
- コロナ
  「働き方」⇒テレワーク シェアオフィス

将来に向けてのニーズへの対応

検討内容



- ・シェアオフィス
- ・訪問・通所等の福祉サービス
- ・食事提供サービス
- ・子どもの預かりサービス
- ・末端交通停留場
- ・コミュニティカフェ
- ・学習室

- ・市民緑地（多世代交流広場）
- ・カーシェアポート
- ・末端交通停留場
- ・臨時共用駐車スペース（移動販売車・介護車）
- ・自然エネルギー発電施設
- ・EV充電スポット

ケーススタディの実施

まち会社　まちづくり専門家
民間（不動産・福祉等）　市
地域
空き家空き地所有者
等を想定

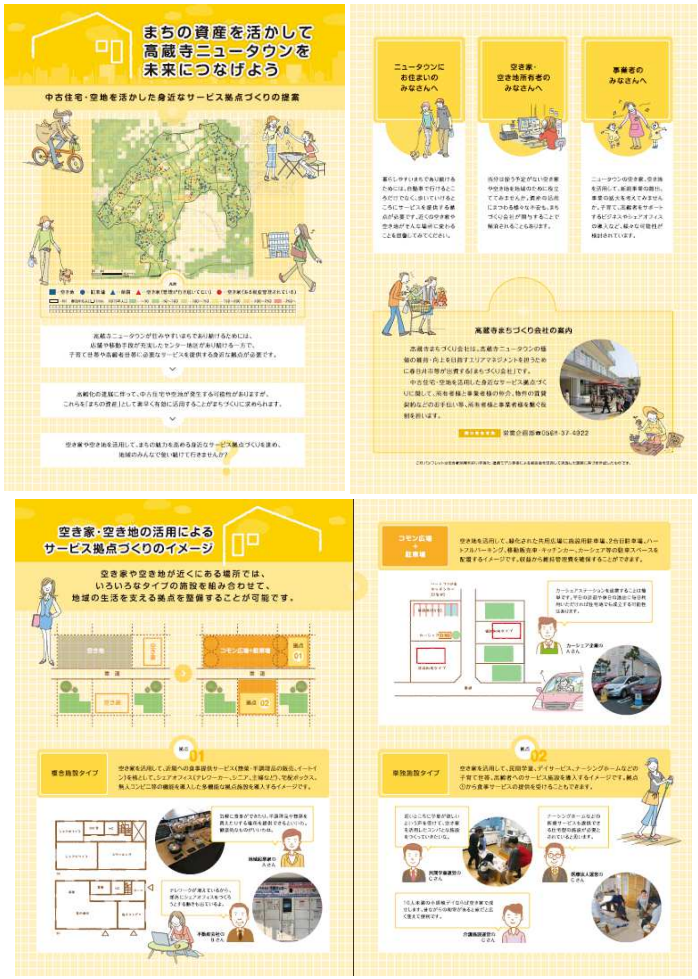
取組の成果

行政・事業者向け
サービス拠点の
整備運用マニュアル

住宅・土地
所有者向けの
啓蒙パンフレット

- **戸建団地への適用モデルの提示**
- **運用上の課題を整理**

今後の取組み



２．取組状況

〈空き家・空き地のマップ化〉

ＧＩＳ上に空き家、空き地をプロット
（必要に応じ、現地調査等により補足）

地区単位で空き家、空き地の密度、分散状況

公共施設の立地状況

主要施設からの距離

➡施設の必要性を検討

〈先行事例の調査〉

小牧市桃花台ＮＴ
戸建てエリア
共有地活用事例を視察
現状と問題点を確認

〈地域課題の抽出〉

地域に不足する施設、機能

- ・介護の視点
- ・子育ての視点
- ・交流施設の視点
- ・買い物、飲食施設の視点
- ・防災の視点

〈サービス拠点おモデル検討施設、敷地の選定〉

高森台、石尾台、押沢台　等

空き家活用タイプ
①高齢者介護施設
②シェアオフィス
③民間学童サービス
その他可能性の検討

空き地活用タイプ
①２台目供用駐車場
②多目的駐車スペース（買い物支援、訪問介護等）
③ｶｰｼｪｱ
その他可能性の検討

民間各事業者ヒアリング
・・・戸建を活用した事例
・・・戸建エリアでのニーズ、動向
・・・戸建活用の課題、事業性の想定
など

〈モデル案の作成〉

空き家・空き地
所有者アンケートの実施

想定される利用者・事業者でワークショップ開催

〈パンフレットの作成〉

～導入を検証すべき新たな制度～

- 低未利用土地権利設定等促進計画
- 民間のまちづくりの担い手活用
- 立地誘導促進施設協定制度（H30年度改正　都市再生特別措置法）
- 「居心地がよく歩きたくなる」まちなかの創出（令和元年度改正　都市再生特別措置法）
- 「地域住宅団地再生事業」（地域再生法）

今後

モデル案の実現に向け、、、

- 拠点整備にあたっての行政支援制度の整理
- 検討課題と必要な取り組み